

災害復旧後の河川敷及び堤防を利用した地域活性化事業

栃木県那須町

余笹川流域連携ネットワーク / 栃木県

手づくり郷土賞について

講評

一般部門

大賞部門

資料集

一級河川余笹川は那須岳に源を発する関東の四万十川と称される清流那珂川の第1次支川です。平成10年の那須水害（連続雨量1245mm）で余笹川等、那珂川流域で未曾有の大災害が発生しましたが、現在は安全で自然豊かな河川に整備されました。また、流域住民が憩える河川公園（よささふれあい公園）も整備され、スポーツやイベント等に幅広く活用されています。

「余笹川流域連携ネットワーク」は、未曾有の災害を受けた余笹川が再生されたことを契機に、ボランティアとして「この大災害を風化させずに次世代につなぐこと」、「これまで以上に地域の人たちに河川を利用してもらう」との想いにより、この災害復旧の関係者、地域の団体や住民などが集まり、平成15年5月に設立されました。

「河川は危険な所」というイメージを払拭するため、会設立当初から、子供たちに河川を身近に感じてもらうことを目的に「マスのつかみどり」、「アユの友釣り体験」を実施しています。また、平成19年から「川ガキ教室」と銘打ち、川の楽しさを教える「カヌー教室」、川の危険を学ぶ「リバーレスキュー教室」も行い、川遊びの普及活動に努めています。

堤防を利用した「よささウォーク」は那須町の九尾祭とタイアップするなどの工夫により、年々参加者が増加しています。

川の素晴らしさを広く周知することを目的に、様々なイベントを行い、県内外から多くの参加者を呼び込むことに成功しています。



那須水害



余笹川整備後の風景



堤防を利用した「よささウォーク」



マスのつかみどり（川の日記念事業）



アユの友釣り体験（川の日記念事業）

- ◆所在地
栃木県那須郡那須町大字寺子乙2584-6
- ◆活動内容
川の日記念事業（7月）、よささウォーク（9月） など
- ◆活動主体名
余笹川流域連携ネットワーク
- ◆連絡先
事務局長 福田一郎
0287-62-6789
fukudai1952@ybb.ne.jp

